No.141 2015 OCTOBER
平成27年10月16日発行

只見 議会だより

愛と復興

あさくさホーム
12月開所にむけて …… 2
南会津会への追加運営補助決まる… 9
新庁舎建設
14億円に収めるべく設計変更
議会と協議の上 再入札 ……10

発行：福島県南会津郡只見町議会
編集：只見町議会広報広聴常任委員会
〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30
TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222
E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp

ブナりんと一緒にチーズ！！（9.19ＪＲ只見線ラッピング列車出発セレモニーにて）

12月開所に向けて！

介護施設完成予想イラスト

平成27年9月会議が8日から18日までの11日間行われました。13件の条例改正及び補正予算が議案提案され、全て原案通り可決しました。また、平成26年度決算特別委員会が開催され、一般会計並びに特別会計決算について一部意見を付して認定しました。ここでは、本年12月開所が予定されている「あさくさホーム」の経過等について要約してお伝えします。

今までの経過

平成25年
用地買収
造成測量設計業務（造成工事費：約5000万円）

平成26年
当初の本体工事予算約３億8000万円に２億円の追加補正予算が加わり、南会津会で施設整備を開始。

平成27年
さらに5940万円の追加補正予算が加わり、12月初旬開所に向けて施設整備進行中。

特集

あさくさホーム

開所運営費追加補正 5940万円

施設整備開所までの費用総額

土地購入費	２４４０万円
土地造成費	２３１３万円
土地造成設計量	３４６万円
本体工事費	５億２７０４万円
外溝工事費	５８３２万円
設計監理費	９１８万円
開所運営費	５９４０万円
取り付け道路工事費	４２３９万円
総合計金額	７億４７３２万円

※１万円未満を四捨五入しています。

本会議での質疑応答

問 長浜地区の介護施設運営補助（約５９４０万円）の中身は？

答 開所時運転資金として３３００万円、開所時消耗品として、被服代・医薬品代・電算機器等のリース代等１１４０万円、竣工式の経費２２０万円。その他園長他２０人の職員に係る経費となっている。

問 開所運営費の３３００万円は、その後の収入で戻るのか？

答 そのまま補助するので戻らない。

問 南会津会の運営だが、今回特別なものか？

答 地域密着型施設で、基本は只見町民の利用となるため、只見町が補助し財政支援をすることで南会津会と調整済である。

87億円をチェック

どのような成果があったか？

決算特別委員会を設置

疑答 質応

歳入

固定資産税税率

問 多額の不用額を出すくらいなら税率を超過税率1・6%から通常税率1・4%に戻したらどうか？

答 町税が減少していく中では、現状を維持したい。

発電税

問 以前検討した発電税を新しい自主財源として導入できないか？

答 町村で行うのは相応しくないとの県の指導を受けた。ダム立地自治体の全国組織の中で働きかけていきたい。

歳出

空き家対策

問 危険空き家の対策はどの程度進んだか？

答 審議会委員を検討中だ。本気で取り組んでいる。

JR只見線全線再開通事業

問 どの程度の効果が出ているのか？

答 難しい課題だ。国県沿線町村と努力を継続する。

只見線縁結びラッピング車輌発進！

克雪対策

問 お知らせ版での告知が分かりにくい。

答 申請者には直接出向いて説明をし、誤解のないよう努めたい。

ユネスコエコパーク

問 多額の決算額だが、地域経済の発展につながったのか？

答 スピード感がないと思われるだろうが、スピードより着実な積み上げが只見型と考える。

問 産業に結びついていない。海外の先進事例の住民視察をすべきでは？

答 10月に国内ネットワークができる。まずは、国内での視察を検討する。

問 「自然首都・只見」と「ユネスコエコパーク」をどう使い分けるのか？

答 「ユネスコエコパーク」という言葉の使用は、文部科学省による制約があるが、町民が混乱しないようにしていきたい。

ユネスコエコパークに認定され、開発が進められている特産品

予算は正しく使われたか？

平成26年度 町の決算 総額

役場新庁舎設計費

問 平成26年度決算までの設計費総額は？

答 設計支援業務委託で約3026万円、本体設計3社で約5250万円、総額約8276万円だ。

軽水力発電

問 導入効果と今後のエネルギービジョンは？

答 他町村の視察があった。会津電力㈱に出資し、今後のエネルギー政策を協議していく。

軽水力発電機「カッパ(Kappa)」が水路で発電中

職員研修

問 講師を招き、職員・議員一緒の研修をすべきでは？

答 内容などにもよるが、検討したい。

障がい者支援

問 障がい者活動支援センター委託料は、利用者実績に応じて支払う方式に変えるべきでは？

答 以前からご指摘を頂いている。今後その点も踏まえながら検討していく。

地域づくり交付金

問 より効果あるものにするため、各振興センターに審査や権限を預けるべきでは？

答 意見を踏まえて今後検討する。

小規模介護施設補助金

問 当初は約3億8000万円の計画だったが、度々の補正で総額はいくらになるのか？

答 土地購入造成で約5100万円、本体工事で約5億2700万円、開所運営費で約6000万円、計約7億5000万円。

平成26年度各会計決算

会計名		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計		63億5579万円	60億4642万円	3億936万円
特別会計	国民健康保険事業	5億3746万円	5億3746万円	0円
	国民健康保険施設	4億1308万円	4億1165万円	143万円
	後期高齢者医療	1億3302万円	1億3299万円	3万円
	介護保険事業	6億1316万円	6億638万円	678万円
	介護老人保健施設	2億4685万円	2億4677万円	8万円
	訪問看護ステーション	1344万円	1344万円	0円
	地域包括支援センター	9616万円	9616万円	0円
	簡易水道	2億5654万円	2億5643万円	11万円
	観光施設事業	5508万円	5508万円	0円
	交流施設	6728万円	6728万円	0円
	集落排水事業	3億1938万円	3億1936万円	2万円
	朝日財産区	1161万円	46万円	1115万円
合計		90億3236万円	87億340万円	3億2896万円

(注)1万円未満の端数処理により、差引額が合わない部分があります。

六次化補助金

問 六次化を促すためにも施設整備が大事ではないか？只見特産との連携は？

答 今は特に考えていない。

八十里古道

問 事業説明が不足していないか？

答 整備の進め方を三条市と協議中だ。国の史跡指定を含めて10年以内に整備を終えたい。

国の史跡指定を目指す八十里古道

只見学

問 只見学検定の時期は？

答 12月10日本試験の予定だ。

12月には検定試験も始まる只見学

林道災害の復旧

問 何路線完了したか？

答 全37災害路線中2路線（黒谷・塩ノ岐）を除いて、本年度中に完成する。

多額の減額補正

問 エコパーク推進事業で多額の減額補正をしているが、その原因は計画・見積りの甘さではないか？

答 アクアマリンふくしまと予定していた魚族調査事業が計画通りにいかなかったのが主な原因である。

役場新庁舎設計支援業務

問 支援業者は仕様書通りの成果品を出さなかったと認識しているが、契約通りの竣工と認めているのはおかしいのでは？

答 業務として、例えば地元産材の活用を検討はしてきた実態はある。

公用車

問 購入基準は？

答 使用目的に合った購入とし、基本的には軽自動車だ。普通車の場合は、1800ccを基準としている。

地域医療連携ネットワークシステム

問 平成26年11月からの稼働実績は？

答 現在5医療機関と連携しているが、実績は今までない。

訪問看護

問 職員体制が減少しているが、サービスの低下につながっていないか？

答 職員数は減少しているが、頑張って不便をかけないよう努めている。

着々と進む林道災害復旧工事

湯ら里

問 **文化ホールを造らないのであれば、より公共施設として使い勝手良く充実させてはどうか？**

答 開業から20年近く経過しており、町民福祉の視点からも検討していきたい。

問 **湯ら里の社長としての町長の考えは？**

答 一般会計からの繰り入れで経営が成り立っていることを良しとは思っていない。施設の改修も含め検討したい。

今後のさらなる活用方法が問われる季の郷湯ら里

決算特別委員会審査報告書

決算特別委員会に付託された議案について、一般会計歳入歳出決算、特別会計歳入歳出決算認定の採決が行なわれ、両会計共に意見を付して原案の通り可決されました。しかし、一般会計決算において賛成・反対に分かれる討論がありました。

反対討論　酒井・山岸

役場新庁舎建設支援業務予算において仕様書と異なる成果品では契約と違うのではないか。

（反対者2名）

賛成討論　鈴木・佐藤

議会へ充分な説明があり、監査の意見も尊重し賛成するべきだ。

（賛成者8名）

付した意見

①固定資産税等、**歳入が年々減少**している。新税の導入など**歳入の確保に努力**されたい。

②庁舎関連等、**決算書の備考欄**の説明が適切でない。**より分かり易い説明に**努められたい。

③**重点事業**の歳出予算は、本来、目的別に支出可能な限度額を設定するものであり、特別の事情の変更がない限り、議会の議決通り執行されるはずである。今回、八十里古道、伊南川の魚族調査等のユネスコエコパーク推進事業は、**予算に見合った投資効果が得られていない**。重点事業の執行にあたり、企画・計画の段階からの詰めの甘さがあり、行政効果と投資効果が見られない結果となっている。今後、重点事業については、しっかりと効果を見極めた**明確な計画に基いた予算組み**によって、適正な財政運営に当たられたい。

④**地域医療連携ネットワークシステム**は、多額の費用をかけて導入し、多額の維持管理費用がかかっているにもかかわらず、**利用実績がなく**、有効に活用されているとは言いがたい。予算に見合った効果が見られるよう、**活用改善**に努められたい。

マイナンバー制度始動

個人情報保護条例決まる

問 セキュリティーは強化されるのか？

答 情報漏れに関しては、改正後の方が強化される。

表面（案）

裏面（案）

個人番号カード見本

反対討論

山岸議員
情報漏れがないとは言えない。責任がとれない。

賛成討論

石橋議員
国が施行する法律に対し、只見町に個人情報を保護する条例がないのは困る。

子育て支援・少子化対策推進条例

基金条例決まる
基金額　約８０００万円

問 具体的な事業は、地方創生戦略に上がってくるのか？

答 今後、実施計画等に基いて実行していく。

問 明確な事業計画がないまま基金を積んで、適切に使われるのか心配だが？

答 具体的な事業は決まっていないが、子育て支援の充実を図っていきたい。

子どもたちの笑顔が広がる子育て広場

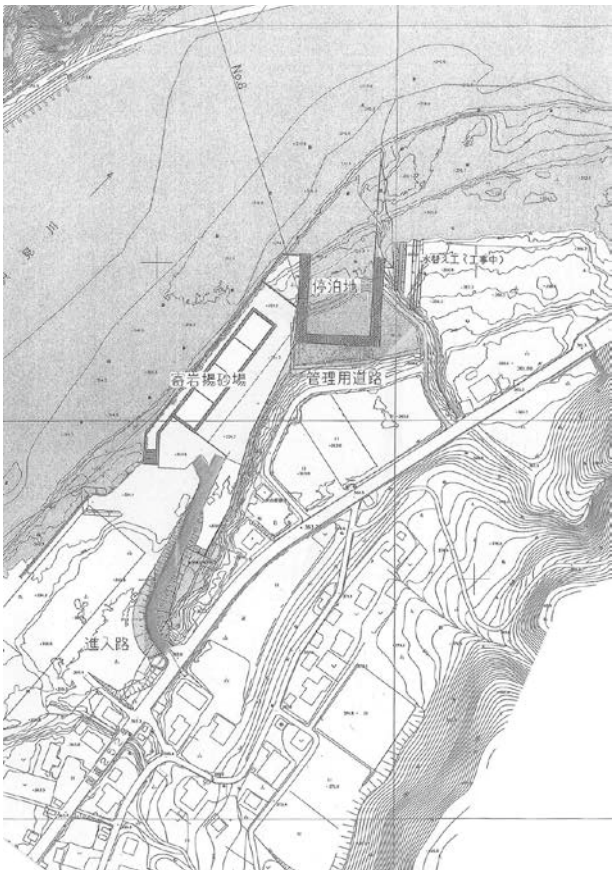
新規・改正

条例あれこれ

浚渫（しゅんせつ）船の停泊用地決まる

町道路線の変更

滝ダム堆砂除去のため、寄岩地区の町道路線が変更となりました。



南会津会(※)への追加運営補助決まる！

補正予算

平成27年度 一般会計予算
9月補正額 3304万9000円
補正後の予算総額 73億9705万1000円

質疑応答

東邦銀行株式売却 8223万6000円

問 昭和48年に指定金融機関となった際に取得したようではあるが、売却の理由は？

答 子育て支援事業の予算に充てる財源を確保するため。

只見振興センター・生涯学習推進委員報酬 △66万4000円

問 減額理由は？

答 4月から生涯学習推進員が不在だ。過去3回募集しているが、応募がないため。

ふるさと納税業務委託料 147万円

問 中身は？

答 今回、「自然首都・只見米」を加えたい。300件を予定している。

今回は6農家が応募した。

これぞ「只見米」

介護老人福祉補助金 5940万円

問 南会津会が運営する施設になぜ再度の追加補正か？

答 長浜地内にできる介護福祉施設の開所費用、準備人件費、事務費などのため。只見町民のみ対象の施設であるため、只見町の費用負担要請に応えるものだ。

順調に建設が進む「あさくさホーム」

保健センター草刈り業務委託料 21万6000円

問 各課同じ基準での委託料か？

答 賃金単価900円で時間数で決めている。今後極端な差が出ないよう調整を図っていく。

特別職報酬 3808万9000円

問 3名分計上されているが、年度内に副町長登用の予定はあるのか？

答 不在の期間が長引いたことは町長である私に責任がある。

(※)南会津会：南会津郡内の老人介護施設を運営する社会福祉法人

議会と協議の上再入札へ

8月11日　設計者：アーキプロとの協議

吉松氏：「設計変更なしに14億円での建設は厳しいだろう。設計を考え直すことも視野に入れていくが、２年間の打合せを通して町や議会のご要望に応えたものが出来上がっていると思うので、一部の設計変更でできるだけ予算の前後で落札できるように努力したい。」

設計者による不落への見解

❶ 鉄骨工事の見積もりに大きな開きがあった。
❷ 工事をしていく上での共通経費部分（足場代等）にかかる積算方法の考え方に、設計業者と入札業者で違いがあった。
❸ 冬期間の屋外工事への考え方に、町当局と入札業者で違いがあった。

「アーキプロ」の吉松秀樹氏（左）が状況説明

議会の意見

- 豪雪地域の建築で、冬期間の工事経費は当然積算に加えるべき。
- 競争原理が働かない入札でなかったか。
- 結局、14億円の予算で出来るのか。

これまでの経過

当初予算14億円を認める ◀ 6月12日 入札不落 ◀ 6月19日 議会へ不落の説明 ◀ 8月11日 設計者より説明 ◀ 8月31日 支援業者より説明 ◀ 9月11日 議員間で意見出し

出された意見

- 設計変更後の図面を見て判断したい。設計変更を議会と協議した上で再入札をしてほしい。
- 発注者としての町当局側での不落の原因検証が先ではないか。
- 事業総額が示されておらず、町民に説明しかねる。

※以上すべての意見は、あくまでも協議中に出された各議員個人個人の意見にすぎず、議会としてのまとまった意見ではありません。
また、これらの意見に対する町当局からの明確な回答を得られる議会との協議の場を、現在までにまだ持てていません。
入札不落後の新庁舎建設の進め方については賛否両論あり、様々な指摘も出されていますが、町当局としては、「法的・手続き的に何も問題はない」との考えであり、「現在依頼している設計変更が業者から提出され次第、速やかに議会に諮って協議をした上で、再入札をしたい考え」とのことです。
よって、これらの各議員の意見を踏まえた町当局との協議は、今後の全員協議会に委ねられることになります。

新庁舎建設

14億円に収めるべく設計変更

8月31日 設計支援業者：環境システム研究所との協議

原田氏：「設計者との細かい調整が不足していた面は否めず、反省している。現在、詳細を分析中だ。」

実施設計支援業者による不落への見解

1. 鉄骨構造については、設計者は特に難度の高い工事とは認識していなかった。
2. コンサルタントとして、設計者との細かい調整が不足していた反省もある。
3. 入札に関して、契約システムの関係は提案したが、決定権はない。

説明中の環境システム研究所の原田氏（左）と安藤氏（右）

質疑応答

問 建設総額はいくらか？

答 まだ見通せないものもある。

問 コンサルタントとの契約は、6月30日で切れているのではないか？

答 切れている。今後についての契約はしていない。

問 入札不落の責任はコンサルタントにあるか？

答 それは含まれていない。

問 冬期施工を想定していない事を業者に伝えたか？

答 現場説明している。

9月11日 全員協議会で

- 設計者・町業務支援者との契約期限は本年6月30日で失効しているが、その成果品を認められるのか。
- 現設計での再入札を断念した時点で14億円の予算は失効していないか。
- 部分設計変更で14億円に収まるとは思えないので、一からやり直すべき。
- 設計変更で14億円に収まるなら、このまま進めてほしい。
- 同じ14億円でも内容を変えて議決することは瑕疵ある議決となる。それは当局の責任ではなく議会の責任になる。
- 適法でない議決はしたくないが、当局は各関係機関と相談の上で決定したことだろうと考える。
- 14億円以内なら地元産材利用等、当初のこだわりを断念しても良いのか建設の意義を問いたい。
- 設計変更への無償対応はよくあること。合意したことを成文化して契約書を作るとのことなので、法的には問題ないのではないか。

調査研修

総務厚生　エコタウン＆シルバー人材センター
経済文教　木質バイオマスエネルギー
広報広聴　議会だより＆議会報告会

総務厚生常任委員会

高齢者や地域資源を活かした活力ある地域社会づくりを学ぶ

視察日　平成27年8月4日～6日
目　的　公民連携の地域づくり・高齢者の生きがい対策を視察
内　容

■岩手県紫波町

①中心市街地活性化計画

国からの補助金に頼ることなく公民連携で地域活性化を進めている岩手県紫波町「中央駅前都市計画整備事業」(オガールプロジェクト）を視察。駅前を中心に数々の施設が入った複合施設をオープンし、年間80万人が訪れるとのこと。

綺麗に整備されたオガールタウンの一部の景観
（岩手県紫波町）

オーストリア製チッパーを使ったチップ生産現場

②町産材活用

町産木材を80％以上使用した町内業者での建設、木質バイオマスボイラーを熱源とした冷暖房設備を導入した「オガールタウン」という住宅整備事業を進めている。

③シルバー人材センター

高齢者の社会参加と生きがい対策として、シルバー人材センターを立ち上げ、現在年齢85歳の高齢者も活躍しており、高齢者の生きがい対策として効果を上げている。

所　感

駅前整備事業については、整備・運営に当たって民間資本が導入されている点が特徴で、新しい公共事業のあり方が採用されている。

高齢者の生きがい対策については、当町でも９月会議において「シルバー人材センター」立ち上げに向けた予算が議決され、今後社会福祉協議会を中心に準備が進められる。今後、担当委員会としても高齢者の生きがい対策づくりに向け調査を進める。尚、宮城県大郷町のシルバー人材センターも視察している。

経済文教常任委員会

森林資源の活用を学ぶ

視察日　平成27年8月5日～7日

目　的　木質バイオマスエネルギーの導入事例を視察

内　容

■新潟県柏崎市　災害時もエネルギー供給を可能とするしくみを作るため、下水汚泥からの消化ガス利活用、廃食用油の利活用、木質バイオマス資源の利活用等の事業を展開している。

■山形県小国町　平成17年小国町環境計画を策定。役場庁舎駐車場、町道歩道の消雪熱源を重油から木質バイオマスエネルギーに転換、現在公共施設を中心に活用を図っていた。

■山形県最上町　再生可能エネルギーの地産地消を目指し、町の保健、医療、福祉の「総合施設ウェルネスプラザ」の冷暖房・給湯を３基の木質バイオマスボイラーを融合させ、エネルギーの地産地消を実践している。

所　感

現在当町でも、平成29年度を目途に湯ら里への木質バイオマスボイラーの導入が検討されている。間伐材等の材の集積の仕組みをどう作るかなどの課題はあるが、今後実現に向け更に調査を進めていく。

広報広聴常任委員会

町政の今をもっとわかりやすく伝えたい

視察日　平成27年7月15日～17日

視察場所
- 山形県庄内町議会
- 宮城県川崎町議会
- 福島県議会自由民主党福島県支部連合会

目　的
- 議会広報誌及び議会報告会・一般会議の充実について情報交換するために、平成26年度議会広報全国コンクール入選議会を視察。
- 今後の議会におけるIT活用のあり方を研究すること。

山形県庄内町議会での視察状況

内　容

★議会だより　伝えたい内容部分をより充実させる方法や、読まれにくい不要なページ・箇所についての考察が進んだ。活字の苦手な住民でも一目で内容を把握できるよう、いかにシンプルかつ要点をついたものにしていけるか、多くの示唆を得た。

★議会報告会　参加者が少なく、いつも同じ面子になっていく問題点はどこも同じようだ。

代わりに座談会形式のものを導入し始めているのも同様。テーマの設定の仕方、声をかける団体の種類、住民目線の内容等がポイントだ。今後どのような運営を試みていくべきかの示唆を得た。

★ＩＴ活用　iPadミニを導入している団体での活用状況を伺った。当議会に導入予定はないが、議員個人所有のモバイルツールを活用することで、以下２点のネット整備を進めたい。

①議会専用ページに配布済み資料等を掲載　　②スケジュール共有

鉄道軌道法の早期改正を！

小熊慎司議員に要望書を提出

8月28日、議員全員で福島県選出国会議員並びに「赤字ローカル線災害復旧等を支援する議員連盟」会長に、只見線全線復旧を積極的に推進するための要望をしました。5月に行なった要望活動に引き続きの活動です。

只見町の美しい写真集ができました！

国会議員に要望書提出をした後、東京都内において祝賀会が開催されました。写真展並びに祝賀会には、只見町民の他関係各所から多くの方が参加され、只見町を広くＰＲすることができました。

して

7月27日、国道289号八十里越地点開発促進期成同盟会が開催され、工事進捗状況の説明を受けました。

※新潟県側「7号トンネル（952m）」：平成27年度貫通予定
※新潟県側「6号トンネル（1195m）」：平成29年度貫通予定
※新潟県側「5号橋梁（337m）」：平成27年度基礎工事
平成28年度橋脚工事

この３工事が完了次第、工事用仮設道路を利用して暫定供用ができるとのことで、５年後の光が見えてきました。三条市は今年合併10周年を迎えましたが、20周年記念式典の際には八十里を越えて行ける希望が見えた総会でした。

工事中の福島県側「７号橋梁」

議会から県へ3件の要望

7月10日に南会津町「さゆり会館」において南会津地方議会議員大会が開催されました。只見町議会からは次の3件について要望し、要望通り決議されました。

只見町から要望する目黒議員

①河川流水占用料の関係町村への還元交付について

河川法に基づき、県が徴収する河川流水占用料の一部を流水発生地域に配分し、地域固有の自主財源として活用できるようにすること。

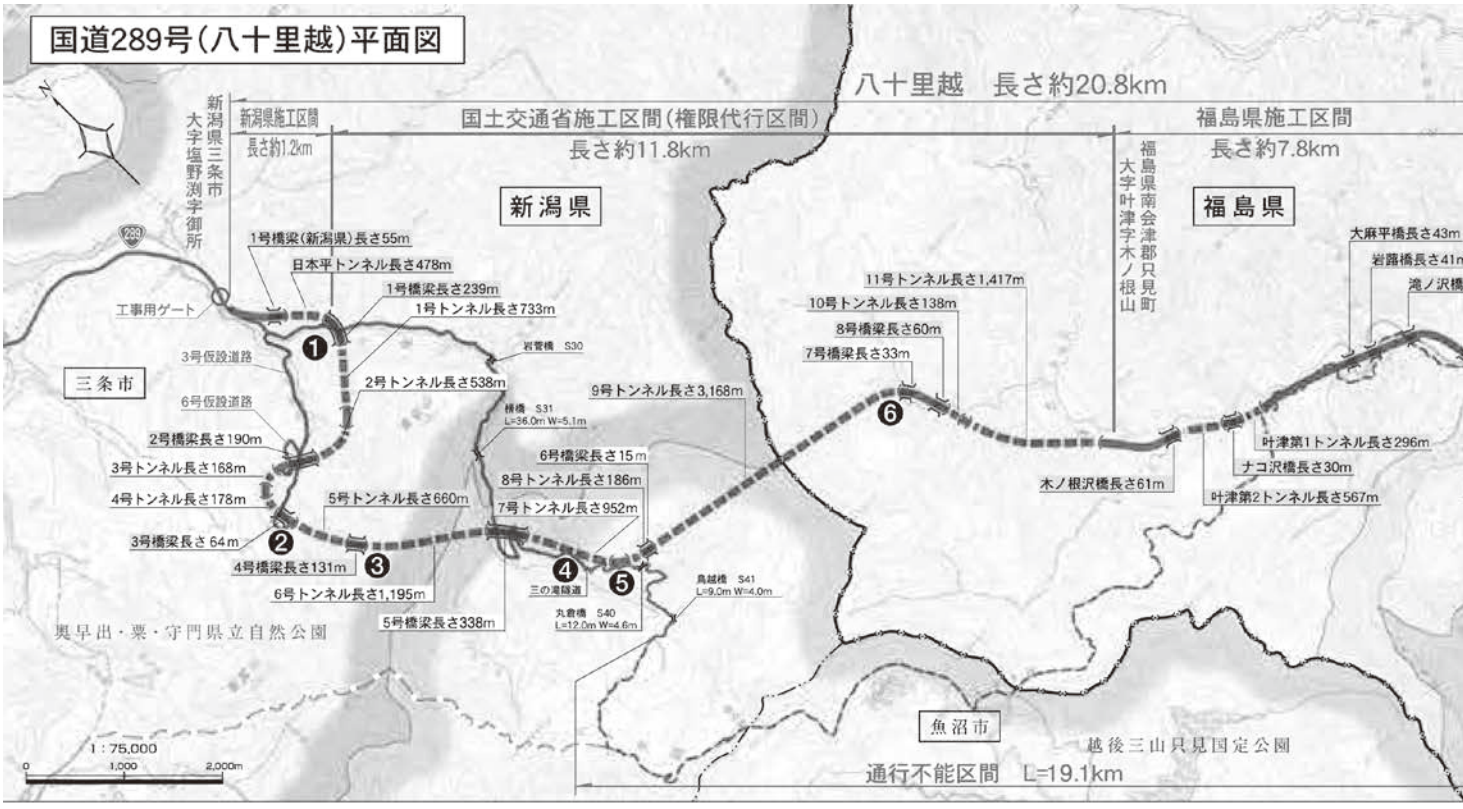
②県道2路線の通行止め区間の解除及び通年通行確保について

町内を縦横断する「県道小林・舘ノ川線」の土砂崩れ箇所の早期復旧と「県道布沢・横田線」を含む2路線の通年通行を確保すること。

③JR只見線の早期全線復旧について

只見町及び会津地方のライフラインの確保、観光・産業振興のため、JR只見線の早期全線復旧を強く要望する。

5年以内の暫定供用を目指



陳情 請願

審査結果

1 防衛省自衛隊第2施設団第11施設群誘致に関する意見書提出の陳情書

〈陳情者〉会津地方自衛隊駐屯地誘致期成同盟会 会長 手代木和之

【審査結果】**不採択**

【理由】前回の陳情と同様、自衛隊の災害時における救助活動などは高く評価すると共に敬意を表しているが、本町及び周辺地域一帯は文化遺産・自然資源の宝庫であり、様々な面での懸念が払拭できないため。

2 只見振興センター建設反対の陳情書

〈陳情者〉人口減社会を生きる只見町民の会 代表 目黒道人 他16名

【審査結果】**不採択**

【理由】町民の強い要望の中で建設が急がれるものであり、既に基本設計も準備されている。陳情の趣旨は十分理解できるが、施設の必要性を判断したため。

3 文化ホール建設反対の陳情書

〈陳情者〉人口減社会を生きる只見町民の会 代表 目黒道人 他16名

【審査結果】**採択**

【理由】現在いくつもの施設整備事業計画があり、今後の財政状況等鑑みて、この事業の実現性は低く、既存施設の改修等で対応したいとの町当局の方針が陳情の趣旨に沿うものと判断したため。

4 只見地区振興センター建設に伴う施設の充実に関する陳情の取り下げ

陳情者から取り下げが出され、8月会議において取り下げが議決されました。

災害派遣自衛隊車輌

新たに付託されたもの

8月会議付託

1 避難所施設整備に係る陳情書

〈陳情者〉蒲生区長 五十嵐修 ⇒ 総務厚生常任委員会に付託

2 認定外給水設備整備に対する支援と受益者負担金の軽減をお願いしたい件

〈陳情者〉只見町塩ノ岐区長 馬場清嗣、只見町坂田区長 飯塚信、只見町布沢区長 荒井安行
⇒ 経済文教常任委員会に付託

3 役場庁舎建設の構造計画変更を求める陳情書

〈陳情者〉人口減社会を生きる只見町民の会 目黒道人 他２名 ⇒ 総務厚生常任委員会に付託

9月会議付託

1 森林吸収源対策に係る安定的財源確保と山村振興対策の推進を求める意見書提出の請願について

〈請願者〉森林労連林野関連労働組合関東地方本部南会津支署分会 執行委員長 猪俣源一

〈紹介議員〉鈴木征 ⇒ 経済文教常任委員会に付託

継続審議

① 只見町農業政策に関する請願

→ 経済文教常任委員会に付託

9月会議一般質問

この町を想い、町政を問う。

9人の議員が登壇

大塚純一郎 …… 18
- 産業・農業振興策は
- 町内業者の育成・支援策は
- シルバー人材センターの早期設立を

新國　秀一 …… 19
- 役場新庁舎建設の見通しは
- 少子化対策の新たな取り組みは
- （住民訴訟の経過は）

小沼　信孝 …… 20
- 中心市街地活性化事業どう進める

藤田　　力 …… 21
- 「ふるさと住民票」を発行すべき
- 観光客数は震災前に回復したのか

目黒　仁也 …… 22
- まずは新庁舎不落の原因検証を
- 住民の声を受け一旦留まるべき

鈴木　　征 …… 23
- 奥会津学習センターの建設方針は
- 新庁舎建設への地元の関わりは

石橋明日香 …… 24
- 地域通貨の導入を
- （電源開発との電力自由化後の話し合いの進捗は
- 町の新規建築物計画と既存建物の利活用を含めた全体計画は）

酒井　右一 …… 25
- 只見町は滅亡・消滅しないのか

山岸フミ子 …… 26
- 学童保育試行の成果は
- 生活弱者への綿密な配慮が必要

※質問したが誌面の都合上掲載できなかったものは括弧内に記しています。

※１議員１ページの割り当てとなっているため、ページの都合上、質問・答弁はその概要を掲載しております。詳しい内容については、議会ホームページの議会中継から**バックナンバーにて中継動画を掲載**しておりますので、ご覧ください。

産業・農業振興策は

答 重要と考え連携して取り組む

大塚純一郎議員

問 農業振興策の遂行における認定農業者と中小零細農業者の現状は。

答 重点振興作物のトマト、花卉については、一定の収入が見込める作物として支援を行っている。稲作等土地利用型農業については、規模拡大を図ってきたが、米価下落や、資材高騰も相まって経営が悪化し、先行き不安意欲減退が拡大している。一方で楽しみながら所得に結びつける、畑を利用した多品種少量生産の産直事業への移行も見られる。

問 「産業の6次化推進」「只見型の道の駅」をプロジェクトとして考えるときではないか。

答 必要性は認めているが、実現に向けて更なる検討は必要と思う。

問 町内の循環型経済活動の取り組みの現状と効果は。

答 町内の商店等小売業の現状を踏まえ、地域外からの外貨獲得と、消費が地域外に流出することなく循環できる政策を展開していく。具体的には、着地型観光の取り組み、宿泊飲食業支援策等により滞在型交流人口の増加に努める。「スーパープレミアム商品券」事業による地元消費拡大対策に取り組んでいる。

6次化推進のカギとなる南郷トマト商品

町内業者の育成・支援策は

答 切れ目のない事業展開を

問 今後の公共施設建設計画における町内業者の育成、支援策は。

答 災害時における応急復旧活動や冬期間の除雪事業を通じ、安心安全な暮らしを守ることに大きく貢献している。年間を通じた安定的な職場の維持は、必要不可欠。地元企業への優先発注、切れ目のない事業展開に努める。

シルバー人材センターの早期設立を

答 設立準備を進めていく

問 只見町シルバー人材センターの早期の設立と運営活用を求める。

答 只見町社会福祉協議会が主体となって設立準備を進め、町も連携強化・支援していく。

問 高齢者の経験と能力を活かした活力ある地域社会をつくるためにも、健康で働く意欲のある高齢者の組織として、「シルバー人材センター」の設立と運営が急務である。

答 町として27年度内の組織の立ち上げに向けて支援していく。

役場新庁舎建設の見通しは

答 当初予算内で再入札を行う

新國秀一（にっくにひでいち）議員

問 役場新庁舎建設入札不落の経緯と今後の取り扱いについて伺う。
新庁舎完成までの総額及び現在までに使用した金額はいくらか。また、本年度の予算としては時期的に執行できないと見るが、町長の見通しは。

答 施工業者を大手業者と地元業者のJVによる指名競争入札で執行できることにし、予備指名通知を大手5社、地元5社に発送し、その後JV結成の届出があった1社に対し指名通知をし、入札執行したが、予定価格を超える入札額であったため不落となったものだ。現在は、次回の入札執行に向け、先の不落の要因を精査し、設計内容の一部見直しを行なっている。
新庁舎建設の全体総額は、27年度当初予算の範囲内としている。
また、これまでの金額は基本計画・基本設計・実施設計で約1億5000万円くらいだ。

問 設計事務所のアーキプロや設計支援業務委託の環境システム研究所との契約は本年6月末日で切れているが、その後町長から設計変更の指示があったようだ。設計変更に伴う新たな契約やそれに伴う金銭は発生していないのか。

答 確かに契約は6月30日で切れているが、道義的にお願いしているものであり、新たな金銭は発生しない。設計変更については、議会の皆様には十分説明を行なっていく。
総額はあくまで当初予算14億円以内と考えており、年内の入札執行を目標としている。

少子化対策の新たな取り組みは

答 条例や計画に基づき取り組んでいく

問 少子化対策として、新たな政策を聞きたい。

答 今般、子育て支援・少子化対策推進基金を提案した。
条例の成立後には、子ども・子育て支援事業計画に基づいて各種施策に取り組んでいく。
その他に、第7次振興計画及び地方創生総合戦略の中で様々な分野にまたがり、新たな施策を含めて取り組んでいきたい。

※他に、「住民訴訟の経過」について質問しました。

耐震性に問題がある現在の只見町役場

中心市街地活性化事業 どう進める

答 商工会と連携して推進

小沼信孝（おぬまのぶたか）議員

問 今後、本事業を進める考えは。

答 本町の経済振興の柱と位置づけ、計画だけで終わることのないように商工会と連携し事業推進を図っていきたい。

問 この事業の制度概要は。

答 町、商工会、各種団体、民間事業者等で協議会を作り、事業案を出し、町が基本計画を策定して国に認定申請を出し認められたなら、国からの3分の2の補助を受けられる事業だ。

問 平成25年度に商工会より只見駅の複合施設建設要望を出しているが、JRと協議したのか。

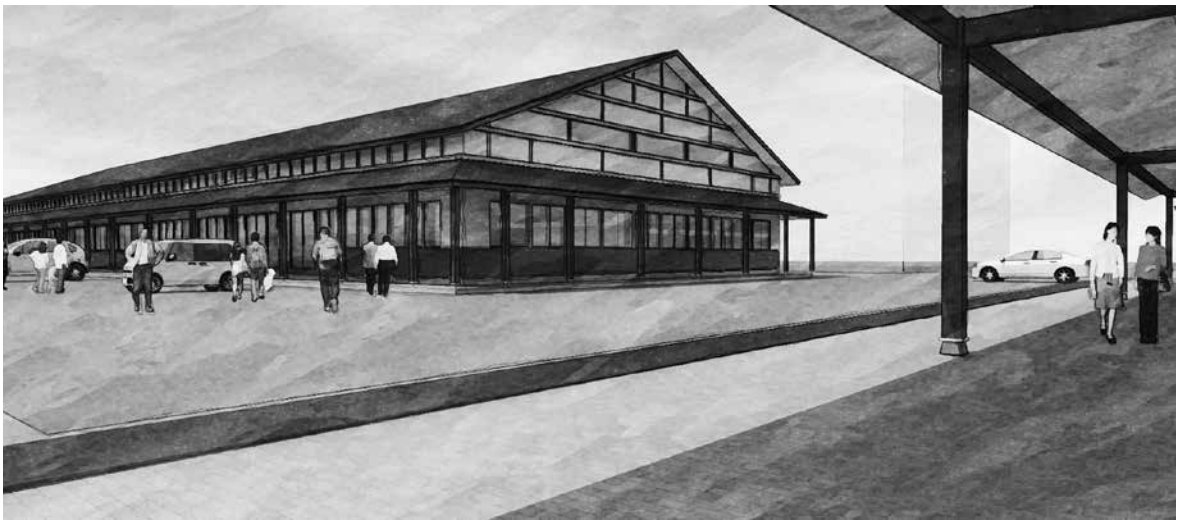
答 JR本社に申し入れをした。

問 只見駅舎を只見町が建設してでも全線開通を願っているからこそ出てきた要望だ。JRからは建設に対してどの様な回答があったのか。

答 JRも趣旨は理解したので年度などは特定できないが、方向性は一致しているとの見解であった。

問 複合施設に併設して鉄道資料館の案も出ているようだが。

答 只見線を除雪していたラッセル車、町にあるSL、キハ40系などの話があるが、スペースの問題もあるので現在検討している所だ。とにかく駅前の賑わいづくりに活用していきたい。



商工会から提案されている「道の駅」（商業交流施設）のイメージイラスト図

問 只見地区は駅前を中心とした中心市街地計画で活性化を進めようとしているが、朝日地区は福祉医療施設を中心とした計画、明和地区は文化財・民具収蔵を含めた文化的施設を中心とした計画も行なっていってもらいたいが、いかがか。

答 只見地区は現在検討中であり、明和、朝日についても、今集落が抱えている課題が沢山あるので、地元の人たちと協議をして今後取り組んでいく。

問 再度確認だが、現在動き出している事業は進めていくという事で間違いないか。

答 間違いない。商工会を中心として今年度いっぱい協議して頂いてスタートしていきたい。

「ふるさと住民票」を発行すべき

答 制度化を検討したい

問 「ふるさと住民票」の発行を提案する。民間のシンクタンク構想日本が提案したもので地域の活性化や移住促進に大きく期待できると思う。只見町に置き換えると

①発行する人　町出身者・柏市民・ふるさと納税者
②ポイント　当面、広報ただみや議会だよりの発送
③特典　町内の観光施設利用の割り引き

・湯ら里の町民プラン
・只見スキー場の町民割り引き（新設）
・町湯の町民割り引き（新設）等

町民よりも町出身者がはるかに多い現状の中、活性化の一助として取り組むべきと考えるが町長の見解を伺う。

答 年内に導入する市町村があることから導入自治体を参考にして、只見町としての制度化を検討する。その際、提案された、発行する人・特典などについて参考にしたいので引き続き提案をお願いしたい。

藤田力（ふじたちから）議員

観光客数は震災前に回復したのか

答 25万人に増加、回復した

問 8月8日の日経新聞「只見ユネスコ一年」の中で、只見町の昨年度の観光客が25万人で震災前の22万人を超えたと報道されたが、町長はこの報道をどう思うか。

答 震災・豪雨災害があった23年は15万人まで落ち込んだ。26年は、ユネスコ登録の効果もあり25万人まで増加した。

問 同じ記事の中で只見町ブナセンター長の話として、「観光客の大幅増加策を町は採用しない」と断言している。この点についてもどう思うか。

答 世界遺産登録のような一時的かつ爆発的な誘客策を町としては実施しないと言及したものであり、誘客策を実施しないとの意味合いではなかったとご理解いただきたい。

観光施設別観光入り込み数（年間）

平成25・26年度対比資料：只見町役場観光商工課

施　設　名	２５年度	２６年度
田子倉レークビュー	44, 752人	48, 774人
青少年旅行村	5, 314人	5, 336人
只見町ブナセンター	5, 295人	7, 427人
河井継之助記念館	4, 178人	5, 232人
歳時記会館	17, 664人	16, 494人
只見スキー場	5, 250人	5, 740人
考古館	472人	1, 196人
叶津番所跡	808人	950人
浅草岳	2, 365人	2, 418人
蒲生岳	1, 769人	1, 150人
恵の森	3, 735人	3, 805人
雪まつり	23, 000人	28, 000人
トリムウオーク		179人
水の郷まつり	1, 000人	
ウキウキわいわい		1, 500人
うまいもんまつり	2, 000人	2, 821人
グリーンライフ	67人	31人
新そばまつり	116人	140人
山菜まつり	320人	230人
ＳＬ風っこ運行		162人
湯ら里　日帰り入浴（町外） 日帰り入浴（町民）	8, 840人	8, 028人 13, 151人
湯ら里　宿泊 宴会 レストラン	10, 064人	10, 636人 10, 347人 18, 774人
むら湯	43, 230人	38, 820人
只見保養センター	13, 906人 ９月から	24, 070人
森林の分校ふざわ　宿泊	1, 293人	1, 489人
森林の分校ふざわ　日帰り 分校森の案内	887人	434人 1, 177人
町内民宿・旅館	25, 000人	記載無し
農家民泊	244人	121人
合　　計	221, 569人	258, 632人

まずは新庁舎不落の原因検証を

答 設計変更で進めたい

目黒仁也議員

問 入札不落後設計変更で進めたいとの答弁だが手順が疑問だ。決定したものを変えるのは、今までの住民説明と異なってくる。まずは原因検証と住民説明、その上で今後の方向性を決めるべきだ。

答 概ねはご説明したと思っている。限られた時間の中で14億に収まるよう設計変更を検討したい。

問 今迄設計以外にも課題が指摘されてきた。執行者として全体総括をまずするのが手順だ。なぜいきなり設計変更の判断か。

答 形状等に大きな変更はなく進めている。設計変更がまとまったら議会にも説明したい。

問 変更設計の契約や予算はあるのか。

答 契約は6月30日で終了している。そこはご指摘の通り今後成文化したい。無償で対応してもらっている。

問 予算と契約のない5億の設計変更が進んでいるようなものだ。このまま継続されるのか、これは役所の仕事ではない。

答 三者合意しており、それを契約として進めたい。

問 不落は不落、その時点で設計と関連予算に根拠がなくなる。無理に根拠づけする進め方が疑問だ。規則や法に適合するのか。

答 その辺は検証している。14億円に収まるよう再入札させてもらいたい。ご理解を願いたい。

住民の声を受け一旦留まるべき

答 現実的判断で設計変更

問 入札不落を受け、地域から様々な厳しい意見を頂いた。5億円という多額な違いが生じた議会のチェックの甘さや責任も厳しく問われている。今後の財政見通しや集落の状況等身近な課題が山積している時、庁舎に巨額を投じていいのかという声もある。住民の意見を受け止めていくのが我々の役目。ここは一旦立ち止まって今後を考えていくべきだ。

答 意見があるのは知っている。昨日今日始まったことではない。課題がある中で議論し議決いただいた。手順は説明の通りで、現実判断となれば設計変更で対応していくのが私の判断だ。その辺のご理解もいただきたい。

元気いっぱいの明和小学校交通安全パレード

奥会津学習センターの建設方針は

答 増築を決定した

鈴木（すずき） 征（すすむ）議員

問 奥会津学習センター建設の進捗状況は。

答 昨年9月に新奥会津学習センター基本計画書を作成したが、先の6月会議の一般質問を受けて、既存施設の増設を含めて再考した結果、既存施設増築を決定した。今会議で増築のための設計費を計上している。

問 今後のスケジュールは。

答 今会議での設計予算が承認されれば、平成28年4月から建設を始めたい。平成29年4月には新しい留学生を迎えて入居できる計画で進めていきたい。

問 増築によって、どんなことが期待できるのか。

答 地元の子どもたちにとっては、多様な価値観のある子どもたちと接する学習環境ができあがることで、切磋琢磨できる学習環境になる。また、只見高校は小規模ながらも、子どもたちの夢を実現できる高校として、奥会津地域の基幹校として存続できると考える。

学習センターで勉強に励む山村留学生

新庁舎建設への地元の関わりは

答 町内業者等を中心に検討する

問 役場建設は高上りになっても、地元材を使用すべきと思うが、いかがか。

答 14億円の予算で執行したく、経費を削れるところは削りたいのが実態で、今現在の検討では困難だ。

問 地域住民にとって役場は必要である。14億円の予算内でしっかりと取り組んでほしい。

答 我々も主体性を持って意見しているが、議会議員としての意思をきちっと決めていただくことも大事と思う。町長としては、これまでに説明している内容で何とか庁舎建設を進めていきたいと思っている。

問 隣の南会津町では、町内の企業で役場建設を始めていると聞く。当町も町内業者の力により、役場新庁舎建設を進める考えがあるのか。

答 前回の入札が不落となった結果を踏まえ、次回は町内をはじめとする近隣業者を中心としたJVによる入札執行を検討している。

地域通貨の導入を

答 発行主体をどうするかが課題だ

石橋明日香（いしばしあすか）議員

問 地域通貨の導入をシルバー人材センター立ち上げと同時に始めてみてはどうか。

答 シルバー人材センターは、現在設立に向けて検討に着手したところだ。地域通貨は地域内の経済循環を促し、相互扶助やボランティア活動を活性化させ、地域の文化的な伝統継承にも役立つ。しかし、自治体自らが実施主体になることは、歳入歳出外現金の扱いに関する法律の関係から困難だ。既に導入済みの地域通貨発行団体は、ボランティア活動グループやNPO、団塊世代の主婦や学生を巻き込んだ団体、地域の共同体基盤を持つ団体が多い。逆に高齢者が発行主体だと管理面で継続が困難になりがちだ。導入の検討にあたっては、地域通貨発行団体をどのようにするのかが大きな課題になる。

問 シルバー人材センターは社会福祉協議会で準備を進めるとのことだが、現在在籍しているスタッフ3名が全員今年度新しく就いた方で、現状の仕事に慣れるのに精一杯な状況と思われる。新たな事業を立ち上げる余裕がそもそもあるのか疑問だ。社協に丸投げせず、町からの人的・業務的支援はするのか。また、今年度中にどこまで準備を進める計画か。

答 確かに人材が新しく懸念の状況だ。直接業務に口を出すことはしないが情報交換を通じてサポートしていく。まずは先進地を視察し、年度内に法人設立を目指す。

問 地域通貨はシルバー人材センターと相性がいい。従来ボランティアで行なっていた労役務に地域通貨を使うことで、人材も経済も地域内で回るようになる。自治体が発行主体の例はなくはないが、発行主体が何であれ、ぜひ町で後押ししてほしい。

答 社協での導入は人材不足もあって現状難しいが、今後どこでどのような形で導入できるか勉強し、検討していきたい。

※他に、「電源開発との電力自由化後の協議の進捗」、「町の新規建築物計画と既存建物の利活用を含めた全体計画」について質問しました。

現在使用されている、使い切り型の「只見町スーパープレミアム商品券」

只見町は滅亡・消滅しないのか

答 そういった意識を持っていない

酒井右一（さかいゆういち）議員

問 只見町は首都圏集中政策のもと、国や県の制度に殉じてきた。これでは何も変わらない。ここ10年で1000人も人口が減っている。

過去、現職まで6人の町長が様々な施策を行なってきたが、地域の衰退が止まらない。地域は滅亡・消滅に向かっているのではないか。

町長はどう考えるか。

答 滅亡・消滅という危機感覚を持っていない。

問 何を根拠にそう言えるか。

答 根拠はない。私はそう思っていない。

問 県立只見高校への支援は適法か。

答 適法と断言できない。只見高校存続をかけた地域政策として今日がある。

問 町の固定資産税率1・4で算出した税額の超過徴収差額はいくらか。

答 約9150万円だ。

問 決算書を見ると、概ね毎年1～2億円以上会計積立が可能とみる。これと超過税額の約1億円で年間2億円以上を用意できるとみる。

町は存亡の危機にある。金は生き物だ。活かして使うべきだ。巨大な建築物に未来を託さず、人に未来を託すべきだ。

答 その通りだ。今建設を計画している建物はそうした施策を進めていく上でも最低限必要なものだ。

問 新生児から只見高校卒業までの児童生徒を持つ親の一切の経費を税金で支援してはどうか。

これは日本全国に例がない。さらに、この制度は実現可能で財源もある。重大な地域政策として只見高校存続も含めた大きな視点を持つ施策だ。教育の分野のみではなく町の最重要施策だ。これが実現すれば生活しやすい町になる。若い世代が定着し子どもが生まれる。若年人口が増える。若者により単純化している産業が多様化し、経済活動が盛んになる。只見高校は定員の心配がなくなる。高校奨学金も不要。児童生徒は自宅通学が可能で現在の山村留学施設も使命を終える。これは検討すべきと思うが、いかがか。

答 現状の課題を検証しながら第7次振興計画などで検討していきたい。

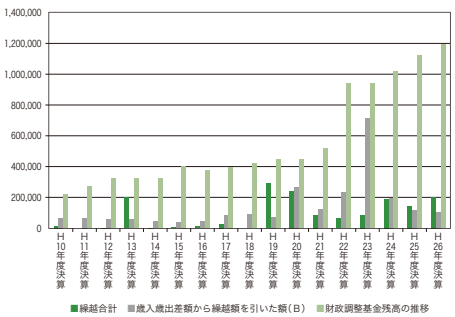
7番議員　説明資料
総務厚生常任委員会：継続調査事項に関する調査書
一般会計の実質収支に関する調書から入力してください

単位：千円

区分		小沼町政下の財政										目黒町政下の財政運用						
		H10年度決算	H11年度決算	H12年度決算	H13年度決算	H14年度決算	H15年度決算	H16年度決算	H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算
歳入総額		5,406,000	5,664,362	6,176,320	5,498,980	4,700,633	4,249,812	4,357,205	4,299,322	4,771,792	4,701,555	5,254,695	4,470,826	5,244,369	6,574,539	7,462,324	6,801,178	6,355,794
歳出総額		5,324,539	5,599,121	6,115,417	5,246,589	4,655,918	4,211,088	4,303,523	4,190,950	4,684,264	4,341,650	4,744,683	4,264,864	4,952,613	5,778,743	7,077,776	6,540,656	6,046,428
歳入歳出差額		81,461	65,241	60,903	252,391	44,715	38,724	53,682	108,372	87,528	359,905	510,012	205,962	291,756	795,796	384,548	260,522	309,366
1	継続費逓次繰越額										0	0	0					
2	繰越明許費繰越額	14,609	254	1,658	197,445	1,690	2,782	9,313	27,761	0	287,903	241,562	84,800	60,489	83,975	188,739	113,740	192,406
3	事故繰越額										0	0	0				29,878	11,031
繰越合計	計	14,609	254	1,658	197,445	1,690	2,782	9,313	27,761	0	287,903	241,562	84,800	60,489	83,975	188,739	143,618	203,437
歳入歳出差額から繰越額を引いた額（B）		66,852	64,987	59,245	54,946	43,025	35,942	44,369	80,611	87,528	72,002	268,450	121,162	231,267	711,821	195,809	116,904	105,929
実質収支のうち自治法233条2項基金繰入		40,000	50,000	30,000	40,000	22,000	18,000	23,000	41,000	44,000	40,000	180,000	70,000	120,000	500,000	100,000	102,647	72,414
財政調整基金残高の推移		219,453	269,943	320,522	320,875	320,972	403,209	374,007	398,070	420,130	444,308	446,699	516,699	940,000	940,000	1,017,233	1,119,880	1,192,024
		81,461	65,241	60,903	252,391	44,715	38,724	53,682	108,372	87,528	359,905	510,012	205,962	291,756	795,796	384,548	260,522	309,366

実質収支に関する調査（酒井右一議員作成資料）

予備費の適正額：１０００万円から５０００万円まで
（福島県市町村財政担当課による見解）



学童保育試行の成果は

答 保護者からは好評

山岸フミ子（やまぎし ふみこ）議員

問 今年度の実施状況、保護者・学童の感想、今後の方針について伺う。

答 今年度については、朝日振興センターや朝日小学校を利用して22日間行い、参加児童は9名であった。保護者からは、来年度も実施していただきたいと概ね好評であった。保護者のニーズもあり、一層の工夫を重ねていきたい。なお、3地区での実施は現状においてはスタッフ不足などの課題があり困難である。

夏休み子ども教室の１コマ

問 4年後の入学児童は只見で2名、朝日・明和で各5～6名である。児童が少ない中、子どもの成長にとって学童保育の充実は重要な役割を果たすのではないか。

答 教育的側面から言えばきわめて重要である。

問 子育て支援・少子化対策の推進に関する条例が、絵に描いた餅にならないよう提言する。若い人の出会いから、結婚・出産・子育て・教育を含め、日本一子育てしやすい町にするため心血を注いで取り組むべきでは。

答 議員と同じ思いだ。対外的にも誇れる町にするため環境整備を進めていきたい。

生活弱者への綿密な配慮が必要

答 相談者の立場に立って対応する

問 国内各地で生活保護費の審査において、奨学金を収入と認定し生活保護費を減額されたとの問題が起きている。

学ぶ権利・生きる権利を奪うものと思われるが、見解を伺いたい。

答 学ぶ権利・生きる権利は、日本国憲法を尊重すべき立場にあるものとして、当然守られるべき権利として強く認識している。

生活保護費の調査・認定は、町において直接判断することはないが、事前相談などにおいて丁寧な対応を心掛け、橋渡し役を担っていきたい。

問 生活保護制度は、生活困窮したときの最後の拠りどころだ。自治体の役目、政治の役目は生活弱者の暮らしを守ることが使命である。悩んでいる方に情報を提供するくらいの配慮は必要ではないか。

答 相談者の立場に立って対応していきたい。

ブナりん

教えて！議会のこと Vol.5

アカショウちゃん

9月の決算議会って何をするの？

イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami

今回は、議会で行う決算審査について、決算特別委員長に聞いてみました。

ブナりん　９月の議会は、「決算議会」ってよく聞くけど、どういう事なのかなあ。

決算委員長　決算認定制度というものがあって、前年度の歳入歳出予算が適正に使われ、主要施策が適正に行なわれたか、それを認定する議会が決算議会なんだよ。

ブナりん　決算認定制度ってなに？

決算委員長　決算認定制度には大きく三つの意義があるんだよ。その中で重要なことを話すよ。

1．予算が正しく使われたかどうかをチェックすること
2．お金を使っただけの効果があったかどうかを確認すること
3．その後の予算を立てるときや使うときに反省として生かすこと

ブナりん　主要施策ってなに？

決算委員長　役場の各課でその年度に行なう重要な事業のことだよ。

イワッペ　なるほどねえ。でも予算のときに審議しているんでしょ。

決算委員長　それはそうだけど、予算はあくまでも計画で、実際に計画通りに行われたかを検証しなければいけないんだ。

アカショウちゃん　へえ、大変そうだねえ。だから、特別に委員会をつくって何日も会議しているんだね。

決算委員長　そうだよ。委員会の最後には予算の使い道が適正でなかったものを、委員会の中でまとめて指摘した上で認定するんだ。

ブナりん　だから、日数がかかるんだね。

決算委員長　そうだね。予算の審議と９月の決算の時はどうしても長くなりやすいんだ。

シリーズ 若者たちの目線 vol.5

只見町ってなじょだや？

只見のよさ

只見小学校６年
小野（おの）　佑月（ゆづき）

只見町は、二つのよさがあると思います。

一つ目は、自然豊かなことです。木々がたくさんあり、春夏秋冬がはっきりしていてきれいです。二つ目は人です。地域の方々がいつも登下校時に挨拶をしてくれたり、学校行事などで協力してくださいます。幕末に長岡藩の人々のために、食料や宿の世話をしてくれたことにもつながっていると思いました。

これからももっともっと只見のよさを見つけたいです。

只見のすばらしさ再発見

只見小学校６年
鈴木（すずき）　涼（りょう）

７月、総合的な学習の時間に新國勇さんから只見の自然や歴史について教えていただきました。その中で心に残ったことが二つあります。

一つ目は、草花を使った遊びです。「鉄砲草遊び」は一見何気ない草を丸めて筒を作り、手で勢いよくたたくと「ポン」と大きな音が出て驚きました。二つ目は、叶津番所や河井記念館で只見の歴史のすごさが感じられました。

今まで知らなかった新しい発見ができ、みんなに教えたくなりました。

「今」を大切に

只見中学校１年
服部（はっとり）　杏菜（あんな）

只見町はユネスコエコパークにも登録され、「活気あふれる住みよい町」に近づいてきたと思います。これからもどんどん、只見町をアピールしていきたいと思います。

一方、高齢化は進んでいます。老人の割合も数字ではっきり出されています。しかし、最近私は思います。それは、しかたがない事ではないのかと。

確かに只見町の将来は大切です。しかし、それよりも私は「今」を大切にしたいです。

只見町のいいところ

只見中学校１年
鈴木（すずき）　舞花（まいか）

私が思う只見町の良いところは自然です。只見町は去年、ユネスコエコパークに登録されました。只見の自然はとてもきれいで豊かだし、植物も動物もたくさんいます。だからユネスコに登録されたのではないかと思いました。それに、たくさんの植物や生き物が生きてこれたのは、人間が木を伐らず、大切にしていったからだと思います。なので、私も只見町のいいところである自然を大切にしていきたいです。

編集後記

今、日本は地方創生花盛り。人口減少が国全体の問題となり、何とか都市に流れる人口を地方にとどめられないか、都市から地方への人の流れをつくろうと全国の市町村がそれに知恵を絞っています。それが「地方創生戦略」で只見町でも年内を目途に計画づくりがおこなわれています。これは、町民の皆様にとっても大切な計画です。審議内容など随時お知らせしていきたいと思います。活気ある元気な町づくりに再挑戦です。（目黒仁也委員）

発行責任者
議長　齋藤　邦夫

広報広聴常任委員会
委員長　石橋明日香
副委員長　小沼　信孝
委員　山岸フミ子
大塚純一郎
中野　大徳
目黒　仁也